

筑波大学大学院
社会科学研究所 村田 潔

大学の4年次にスカーフの“The Computation of Economic Equilibria”を読んだのがきっかけで、現在は一般均衡問題に関するさまざまなモデル分析（特にゲームモデル）や、均衡解の計算のためのアルゴリズムなどについて勉強しています。

常日ごろ感じることは、OR的考え方の広範さと奥行きで、経済学でも従来の伝統的手法に、近い将来とって代わるのでは、ということです。私と同室の院生もORにかなり興味を示しています。ただ、ORにはとっつきにくい印象があるようで、『ORはとてつかん』といった本が出ないのでしょうか。

今のところ体力だけで勝負している、ほやほやの新入会員ですが、早いところ知力も、ともなうようにと思っています。

東京理科大学大学院
理工学研究科経営工学専攻 奈良 雅子

現在まで、多目標計画法を中心に研究を行ってきました。多目標計画法はさまざまな分野に応用することができますが、特に企業などの経営計画への応用を考え、経営意思決定に役立つアルゴリズムが開発できればと思っています。そのためには企業会計に関する知

識も必要と思い、先日開かれた第3回ORセミナー「意思決定のための会計情報講座」に参加させていただきました。財務会計や原価計算などは大学の講義科目にもあったのですが、大学の講義からは得られなかった会計情報の流れのようなものを把握することができました。また経営戦略と会計情報とのかかわりについての講義も、たいへん興味深く拝聴させていただきました。非常に有意義なセミナーでした。ORが企業などでどのように取り入れられ、使われているのか、あまり知る機会のない私のような学生にとって、このようなORセミナーへの参加もそうですが、御誌は実社会でのORを知る貴重な情報源となります。今後もよろしくお願いいたします。

会合記録

| | ()内は出席者数 |
|------------|--------------|
| 編集委員会(OR誌) | 12月1日(水)(8) |
| 研究普及委員会 | 12月6日(月)(12) |
| IAOR委員会 | 12月8日(水)(6) |
| モニター委員会 | 12月10日(金)(3) |
| 表彰委員会 | 12月17日(金)(5) |
| 編集委員会(論文誌) | 12月17日(金)(3) |
| 会計幹事会 | 12月21日(火)(4) |
| 公的問題委員会 | 12月24日(金)(4) |
| OR事例集編集委員会 | 12月25日(土)(7) |

編集後記▶本号の特集は「鉄鋼のOR」。日本の鉄鋼業は世界の最先端をゆく産業に成長しました。諸論文に示されるように、随所にORが活用されており、強力な国際競争力形成の一助となっているのではという観測もあなたが手前みそだけではなさそうです▶すでにお気づきと思われませんが、本年の表紙の色は“若さ”を象徴する緑系色としました。毎年表紙の色を変えようという試みは昨年からはまりました。背表紙にも年度を色で月を位置で示す目印を入れ、本棚から容易に目的の号を取り出せ

るよう配慮したつもりですが、はたしてお役に立っているでしょうか▶今年は国際コミュニケーション年だそうです。ORを成功させるには問題解決の必要性を広く関係者に伝えることが必要であり、コミュニケーションはORにおいても重要な課題です。また、本誌の欧文名称はCommunication of the Operations Research Society of Japanであり、国際コミュニケーション年にちなんで飛躍の年とし、一層の充実を図りたいと思います。よろしくご指導、ご協力願いたします。(M)

オペレーションズ・リサーチ

昭和58年2月号 第28巻(新シリーズ第8巻) 2号 通巻266号

代表者 横山 勝義

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
(電話 03-815-3351~2) 〒113

編集人 小林 竜一

発売所 株式会社 日科技連出版社
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ

定価 850円(郵送料含) 年間予約購読料 9800円(郵送料含)

本誌への広告お申し込みは明報社(571-2548)、日経弘報社(583-2241)へ